

千代田区基本構想懇談会 第1回全体会 議事要旨

【開催概要】

- 1 開催日時
令和4年7月25日（月）18時～20時30分
- 2 会場
千代田区役所4階 会議室A・B
- 3 出席状況
学識経験者4名中1名欠席
区民 18名中2名欠席
- 4 千代田区
樋口区長、古田政策経営部長
事務局： 夏目企画課長、沖田企画担当係長、岩森主任、落合主事、小野寺主事

【次第】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 構成員の紹介
- 4 懇談会の設置目的と進め方について
- 5 区の現況説明
 - (1) 令和3年度 区の施策や将来像に関するアンケート実施概要について
 - (2) 令和3年度 人口推計結果について
 - (3) 区の現況にかかる関連データ集について
 - (4) 質疑
- 6 新たな基本構想の策定に向けた検討について
- 7 今後の予定
- 8 閉会

【配布資料】

- ・委嘱状
- ・資料1 : 懇談会の進め方について
- ・資料2 : 令和3年度 区の施策や将来像に関するアンケート実施概要
- ・資料3 : 令和3年度 人口推計結果について
- ・資料4 : 区の現況にかかる関連データ集
- ・資料5 : 新たな基本構想の策定に向けた検討について
- ・資料6 : （仮称）第4次基本構想（たたき台）
- ・参考資料1 : ちよだみらいプロジェクトー千代田区第3次基本計画 2015ー
- ・参考資料2 : 基本構想懇談会 第1回部会のトピックについて
- ・参考資料3 : 施策シート
- ・参考資料4 : 千代田区基本構想懇談会設置要綱

【議事要旨】

1 開会

2 挨拶

3 構成員の紹介

◎事務局

- ・参考資料 4 に基づき、会長及び副会長を指名

4 懇談会の設置目的と進め方について

◎事務局

- ・資料 1 に基づき説明

5 区の現況説明

◎事務局

- ・資料 2 ・資料 3 ・資料 4 に基づき説明

○区民

- ・千代田区の人口が増加する理由は何か。

◎事務局

- ・住宅供給施策や子育て支援施策の充実、民間企業がマンションを建設したこと、さらには都心回帰の影響など、複合的要因がある。
- ・土地のキャパシティには限界があるため、その点は今後注視する必要がある。

○区民

- ・資料 3 と資料 4 の 6 ページに掲載されている 2020 年～2040 年の人口推計結果について、予測値に 1 割程度差がある。どのような算出の違いで、このような差が生じているのか。

◎事務局

- ・調査の主体が、資料 3 は区、資料 4 は国立社会保障・人口問題研究所であり、使用しているパラメーターが異なることが予測値の差に繋がったと推測する。

○区民

- ・説明の中で、都心回帰の傾向があるという話があった。しかし、若い世代は、近年リモートワークが推奨され、また住宅の価格が上昇しているため、都心は住みづらく、地方に人口が流れるのではないかと考えている。千代田区では、そのような影響を感じているか。

◎事務局

- ・住民基本台帳のデータによると、2019 年以降に人口増加の伸び率が小さくなったが、直近では回復しつつある。流入人口が大きく減少しているという印象はない。影響が明らかになるまでには、もう少し時間がかかると考えられる。

○区民

- ・人口増加について、千代田区の東側と西側で異なる傾向はあるか。東側の人口の方が増えている印象がある。

◎事務局

- ・最近では東側の人口の方が伸びている。新しいマンション等が建設されたことが要因ではないかと考えている。

○区民

- ・人口・世帯に関する、外国人のデータが少ないように感じる。今後、日本全体での人口減少を踏まえると、外国人の労働力を増やす必要がある。外国人に関する人口動態のデータはあるのか。

◎事務局

- ・外国人人口に関するデータは別途管理している。ここ数年、コロナウイルスの影響で外国人の国内への流入が減少しているため、区内の在住外国人の人口も減少している。

○区民

- ・千代田区の人口が増加している原因の一つは、タワーマンションが増加し、大手不動産の誘致が上手く出来ているからだろう。
- ・その一方で、千代田区には古い分譲マンションも多くあり、そのマンションを貸出ししている人も多くいる。分譲賃貸は一般の新築賃貸よりも入居審査が緩いため、外国人や所得がそこまで高くない人でも、千代田区に賃貸マンションを借りることができるため、そのような事も千代田区の人口増加の原因となっているのではないかと。そういった観点から、区の人口増加の原因を研究してほしい。

◎事務局

- ・頂いたご意見も踏まえ、人口増加の理由については、引き続き研究していきたい。

6 新たな基本構想の策定に向けた検討について

◎事務局

- ・資料 5・6 に基づき説明

○区民

- ・分野別の将来像に記載してある「多様なライフスタイルに応じて安心して子育てができています」はどのようなライフスタイルを想定しているのか。

◎事務局

- ・働き方の多様化や、介護といった様々な事情などを踏まえたライフスタイルを想定している。

○区民

- ・東京都も同様に基本構想を策定している。東京都の構想と照らし合わせながら策定する必要はないのか。

◎事務局

- ・以前は、法律で基本構想の策定が義務付けられていたが、法律が改正され、その後、基本構想を策定するかしないかは各自治体に委ねられている。
- ・東京都については、基本構想と計画が一体化したような「未来の東京戦略」を策定している。その戦略に照らして、東京都と同じような構想を策定していく必要性はなくなっている。

○区民

- ・都と区の役割分担はあるのか。

◎事務局

- ・法律上、広域自治体である都と基礎的自治体である区には事務上の役割分担がある。時には都と区で類似した取組みを行うこともあるが、その場合目的を明確にして実施していく必要があると認識している。

○区民

- ・基本構想を策定するにあたって、千代田区の理念はあるか。

◎事務局

- ・めざすべき将来像に記載している内容が基本構想策定にあたっての理念である。これまで千代田区は伝統・歴史を受け継ぎながら、様々は変化に応じながら発展してきた。これからの社会の変化が激しい中にあっても伝統や歴史を大切にしながら、新たな文化や価値観を取り入れ、未来に躍進するまちを目指していくことを想定している。古いものを大切にしながら、新しいものを取り入れていくという「不易流行」の考え方をめざすべき将来像に据えている。

○区民

- ・基本計画を策定しないことのメリット・デメリットは何か。

◎事務局

- ・メリット：基本計画を策定するには、１～２年の期間を要する。一度策定したものは、容易には改定出来ない。計画の期間は、５年や１０年のものなどがあるが、その期間中も社会は変化し、その変化に対応していく必要がでてくる。そのような対応が積み重なると、次第に計画に記載していないような取組みを行うこととなり、計画と実際の取組みが乖離してしまうという問題点がある。そのため、今回は基本計画を策定せず、毎年の予算編成の際に、個々の取組みに中期的な方向性を示すこととする。そうすることで、分かりやすく、より社会の変化にも柔軟に対応することが可能となる。
- ・デメリット：基本計画を策定した時点では、施策等が分かりやすく整理されている。また、進捗管理という観点では、基本計画に記載のある取組みについては、分かりやすい部分がある。しかし、基本計画に代えて、中期的な方向性を示すことによって、基本計画を策定した場合と同様の対応ができると認識している。

○区民

- ・基本構想の中で、「まち」という言葉を、敢えてひらがな表記にしている理由はあるか。

◎事務局

- ・イメージの問題かもしれないが、「街」は、ハード的なイメージがあり、「町」は場所だけのイメージがある。ハード面だけでなく、人とのつながりなどソフト面であるコミュニティの意味合いも内包したいという趣旨で、ひらがなで「まち」と記載している。

○区民

- ・現基本計画である「みらいプロジェクト」を策定した理由は何か。

◎事務局

- ・平成13年に策定した基本構想のもと、これまで3回基本計画を策定した。現基本計画策定時は、計画的な行政運営に重きを置くことの一環で、主な取組みを掲載することにより、計画上の進捗管理なども行う目的があった。しかし、社会情勢の変化の激しさなどへの対応の課題があり、計画を策定しないこととした。

○区民

- ・第3次基本構想は目標人口5万人という数値目標があり達成したことは素晴らしいと思う。これから策定する長期的な基本構想に数値目標を入れることが難しいということであれば、基本計画に設けてほしい。

◎事務局

- ・基本構想に目標年次や数値目標などを入れるかについては、懇談会の中でも議論してもらいたい。区としては、人口が増加傾向にある中で目標人口を掲げるのではなく、想定される人口を踏まえて運営していくことが望ましいと考えている。他に数値目標を設けるのであれば、この懇談会でも議論していきたい。

7 今後の予定

◎事務局

- ・参考資料2・3に基づき説明

8 閉会